

11/9(水) 第2回オレンジカフェを開催しました。今回のテーマは高齢者の口腔ケアについてです。

最初に山本看護師から、「高齢者の歯磨きが認知症の予防になる！」といった内容の講義を受けました。なぜ歯磨きが認知症に良いのかというところから効果的な歯磨きの仕方まで、とても分かりやすい内容でした。

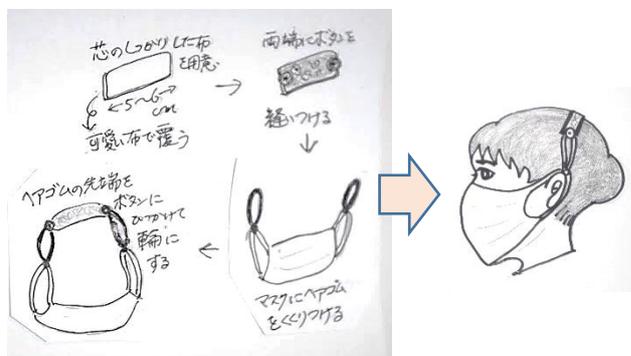
次に、口腔ケアの実践から、デイサービスで提供している唾液腺マッサージと口腔体操を参加者と一緒に行いました。認知症の予防体操もからめて行いました。

参加者の方から、「知らなかったことが分かる事が出来て来てよかった。」「(認知症の家族と一緒に参加したが) 自分が言ってもなかなか歯磨きしてくれないので今日からちゃんとしてくれると思う。」「これからも参加したい。」などの嬉しい意見を聞くことが出来ました。(A)

マスク生活も長くなりました



スタッフは毎日長時間マスクをつけています。その際、一番の悩み事がマスクのひもで耳が痛くなることです。お悩み解決！スタッフの中で工夫をした人がいました。(靴の手提げ部分のような) しっかりした布を短く切り、両端にボタンを縫い付けます。マスクのひもにヘアゴムをつなげ、その端をボタンに引っ掛けます。こうして頭にかけるようにしました。ベルト部分に綺麗なリボンなどで覆い可愛らしくしました。これをつけると「全く耳が痛くならない！」と好評です。マスクのひもでお悩みの方であればお試しあれ。



現在デイサービスの利用者さん達それぞれにリースのぬり絵をしてもらっています。その塗り絵はクリスマス近くの利用日にプレゼントとして持って帰ってもらおうと思っています。「ここの色何色がいいかなあ。」「ここもう少し濃く塗ろか。」等わいわい楽しみながら迷いながらも、みなさんその人その人で色の好みや塗り方で個性が出て見せてもらうのが楽しみです。(H)

テ
*
イ
*
便
*
り

編集後記

11月、わかば初の介護実習生の受け入れを経験しました。12名中10名が外国人というのに少々複雑な気持ちになりつつ、これも時代の流れかと納得。指導についたスタッフは、わかばのこれまでの活動を紹介して「わかばってこんなにいろんなことをやってたんだ」と改めて実感し「コロナが全部奪ってしまったんだなあ」とため息をついていました。毎月のように季節行事を準備したスタッフも一緒に楽しみ、音楽や芸能など披露してくれる方の訪問があり、お花見や祭りや初詣とお出かけを企画し...と。楽しかった日々が遠く昔のことのようにです。わかば新聞の記事のネタにも事欠かなかったのに、今やコロナ一色。第8波の感染拡大に戦々恐々とする毎日、不安で夜も眠れないほどです。

2019年末からパンデミックが始まり丸3年。ともすれば気力が萎えそうになる中、外国からやってきて学ぼうとする若い実習生たちの真摯な姿に励まされました。まだまだがんばらなければ。新しい年に期待しましょう！(亜)